

# たけのこ

2006 FEBRUARY 2 / 創刊号



医療法人 久盛会  
秋田緑ヶ丘病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川 84 番地 TEL.(018) 845-2161 FAX.(018) 845-6942  
ホームページ <http://www.kyusei.or.jp/> Eメール [webmaster@kyusei.or.jp](mailto:webmaster@kyusei.or.jp)

## 理念

友情を限り「安全・安心・信頼の医療」の実現と地域社会から信頼され「生きる喜び」と「希望」を大切にする医療を行います

## 指針

1. 医療の安全と質の向上に努め、患者さんに信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚に努めます
3. 患者さんの人権と個人の尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるよう自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます

## 患者さんの権利と役割

1. 適切で、最善の医療を平等に受ける権利があります
  2. 基本的人権が尊重され、プライバシーが保障される権利があります
  3. 自身の病気・治療について十分な説明を受け、知る権利があります
  4. 不服を申し立て、第三者の援助を受ける権利があります
  5. 外部と交流する権利があります
  6. 不必要な行動制限をされない権利があります
1. 自身の健康状態に関する情報を、できるだけ正確に医師や看護師などに伝える努力をしてください
  2. 治療や検査などの医療行為について、自ら良く理解し、医師や看護師などの治療方針に協力する努力をしてください
  3. 全ての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則を守る努力をしてください



## 年頭にあたり



秋田緑ヶ丘病院  
院長 武田 忠厚

新しい年を迎えるにあたり、新たな気持ちで、十分な医療を確保し、患者の視点より、質の高い十分な医療を提供できるように努力したいと思います。

平成十八年度は、新しい診療報酬にあたりますが、精神科関係でも、急性期入院医療に対しては看護職員配置四対一以上の場合、別途加算を設ける一方、在院日数を減らす方向になる様子です。

一方、特殊疾患療養病棟では、長期にわたり療養を必要とする患者は療養病棟で対応すべきとする観点から特殊疾患療養病棟は一定の経過期間を設けて廃止の方向で検討しているということです。

当院での計画によると病棟を整備し、一ヶ月の試行を終えると四月に入り込むので、特殊疾患療養病棟に移す計画は一時中断し、今後の中医協での決定を見た上でとしました。今回得た資料は今後のADLの悪い患者の治療の参考のため利用させてもらうこととします。

また、四月一日より障害者自立支援法も施行されます。

職員の皆さんも、今までよりなお一層の柔軟性と積極性を持って対応していただきたいと思います。そうした暁には多くの可能性があるものと期待しております。よい病院をつくりましょう。

# 障害者自立支援法

地域生活支援センター  
クローバー

施設長 加藤 明

本年は、「障害者自立支援法」が四月より施行されることとなり、障害をお持ちの方にとって大きな転換期の年となります。障害をお持ちの方の地域生活と就労を進め、自立を支援する観点から、これまで身体、知的、精神障害と障害種別ごとに異なる法律に基づいて自立支援の観点から提供されてきた福祉サービス、公費負担医療等について、共通の制度の下で一元的に提供する仕組みに変わります。

この自立支援法では、精神障害者施策の拡充など関係団体の提言や要望が受け入れられておりますが、サービス利用時には、原則一割の定率負担（応益負担）となり、ニーズが多ければ多いほど負担が増えていきます。障害が重くなればなるほど負担が増すというのが応益負担の考え方です。また、通院医療費については、今まで一律五％（三十二条）の医療費負担であったものが、原則一割負担に変わり、収入によっては、今まで以上に自己負担がかかるようになります。（ただし、所得に応じ月額負担上限額を設定。）

障害をお持ちの方にとっては、転換期の年となり、多々不安があるかと思いますが、こうした国の施策等を十分念頭に置きながら、地域精神保健医療福祉の向上に向けて、行政機関等と今まで以上に連携を図る必要があります。皆さまの意見や要望を踏まえ、障害をお持ちの方への自立を支援するとともに当センターの質を高めながら地域へ貢献できればと思っております。



## 精神障害者通所 授産施設クローバー

施設長 成田 聡

通所授産施設クローバーは、雇用されることが困難な精神障害者が生活することが出来るように、必要な訓練を行い、又職業を与えることにより、社会復帰の促進を図ることを目的として、平成12年2月に地域で生活する精神障害者への相談窓口であり支援を行う地域生活支援センタークローバーとともに秋田市は、飯島道東に開設して、6年が経過しました。

目印となる国道沿いに見える真っ赤なロンドンバスをみなさんご存知かと思ひます。

このロンドンバスは、当通所授産施設の作業訓練場所の一部であり又、障害者と地域とを結ぶ架け橋となる場所でもあり、毎週月曜日が定休日、午前11時から午後4時まで営業しています。

メニューもあっさりとした海鮮麺を中心にコーヒーやケーキ等も提供しています。

施設の作業種目は利用メンバーの希望にあわせて3部門に分かれています。1つ目は、厨房作業を中心としたロンドンバス部門、2つ目に手作りネクタイや、竹細工、わらじ、七宝焼、アイロンプリント等を行う製作部門、3つ目に洗濯作業全般を行うクリーニング部門に分かれています。

施設内では、作業時間はお互いに協力しあい作業に集中し、昼食時間にはワイワイガヤガヤお話しをして、困ったときにはスタッフに相談する方、お互いに相談しあったり情報交換を行ったりする方と、みんなの助け合いの空間となっています。

最後に施設の資料提供や施設見学については、随時対応しておりますので気軽にご連絡下さい。



### 通所授産施設クローバー製作品



ネクタイ



七宝焼



わらじ

### 精神保健福祉士 加賀谷 亨

援護寮すずらんは、平成八年一月一日に秋田緑ヶ丘病院と介護老人保健施設三楽園に隣接する場所に開設されました。援護寮は、昭和六十三年施行の「精神保健法」で初めて法律に明記された、精神障害者社会復帰施設のひとつです。

すずらんは、定員二十名の入所施設で、短期入所事業（定員一名）も行っています。施設の利用期間は、原則二年以内（一年を超えない範囲で延長可能）で、入院の必要性がなくなり、地域社会での生活を希望しても、退院後すぐに自立した生活を営むことが難しいと思われる方が入所し、職員から生

### 援護寮すずらん

活上り様々な助言や指導を受けながら、自立生活できることを目的としています。

利用者の方々は、それぞれの状況に応じて、デイケアや授産施設に通所し日中を過ごしています。またレクリエーション活動を行い、気分転換や社会性、協調性の育成を図っています。

その他、自立生活に向けて、生活技術の習得や対人関係のもち方、定期的な通院・服薬、金銭の使い方や管理、余暇活動等について、助言指導を行っています。

限られた利用期間の中で、自分の可能性を見つけ、一人でも多くの方が夢を叶えられるよう、関係機関、地域社会、ご家族との連携を大切にしていきたいと思っております。



# 病院祭

12月7日(水)



みなさんの大好きなお寿司



授産施設クローバーによる  
作品コーナー



職員とゲストによるバンド演奏♪



作品展示コーナー

## 毎年恒例の病院祭が行われました!!



大賑わいの模擬店会場



スマイル0円

病院祭は、患者さんに感謝の気持ちからはじめられたと聞いております。  
病院は、看護、作業療法その他の部門でも患者さんがいてはじめて成り立っております。  
改めて患者さんの重要性、大切さを考えさせられます。そのためには常に感謝の心を持って親切に親しまれるよう心がけなければなりません。幸い今年の病院祭は患者さんに喜んでもらえたように感じられました。



作業療法科  
特別顧問  
佐藤不二男

## リラーこらむ

### 「快眠」



医局長  
齊藤 靖

良く眠ることは心身の健康維持にとって大事なことです。日本国民の四〜五人に一人は睡眠障害に悩んでいると言われております。様々な不眠症や睡眠時無呼吸症候群をはじめとする睡眠障害を放置しておくと、日常生活に影響

を及ぼすだけでなく重大な事故にもつながりかねません。睡眠障害の専門的な治療を受けようとしても、実際にはどの診療科を受診すればよいのかわからない方も多いと思います。さいわい、秋田県には十二名の睡眠専門医(二〇〇五年十月現在)がおりますので、不眠や睡眠に關してお悩みの方は気軽に受診、相談してみてください。詳しくは、日本睡眠学会のホームページ (<http://www.jssr.jp/>) をご覧ください。

## 餅つき大会

1月26日(木)



一月二十六日に餅つき大会が行われました。この日を楽しみに待っていた患者さんたち、多数の方たちが「自分も餅をつきたい!」と参加されました。  
出来上がった餅をみんなまで美味しく食べたことは言うまでもありません。



作業療法科  
作業療法士  
簾内真梨恵



## 病院受診のご案内

### ◆初診の場合

- 〈受付時間〉 午前 8:45 ~ 11:30 まで
- 〈受付窓口〉 受付・総合案内
- 〈診療時間〉 平日（土曜日は午前中のみ）  
9:00 ~ 12:00  
14:00 ~ 17:00



（午後の診察は予約制になります）  
但し、救急の場合はその限りではありません。

- 〈必要なもの〉 保険証 ※受給証をお持ちの方は併せて受給者証を提示してください。

### ◆2回目以降受診（再診）の場合は

- 〈受付窓口〉 外来・再診受付へ
- 〈必要なもの〉 診察券と予約券



### ◆特殊外来について

「うつ・ストレス外来」「女性専門外来」「思春期外来」「物忘れ外来」「睡眠障害外来」「てんかん外来」  
こちらの外来診療については完全予約制となりますので受付までお電話下さい。

毎月1回は保険証の確認をさせていただきますのでご提示願います。

## 歯科受診について

- ◆診療科目 一般歯科 口腔外科  
インプラント治療  
ホワイトニング  
PMTC 在宅訪問診療



### PMTCとは

毎日、隅々まで磨いているつもりでも、どうしても歯ブラシの届きにくい所、汚れがたまりやすい所が出てまいります。

この部分のクリーニングを歯科衛生士が専門的な器械で行うのがPMTCです。

PMTCには、虫歯予防や歯周病の予防や改善、歯質の強化とともに、歯の着色を除去し、光沢のあるきれいな歯を保つ、などの効果があります。痛みもなく早く終わります。

### ◆初診の場合

- 〈受付時間〉 午前 9:00 ~ 16:30 まで
- 〈受付窓口〉 病院受付・総合案内
- 〈診療時間〉 平日 9:00 ~ 12:00  
13:30 ~ 17:00



- ※火・金曜日の午前中は訪問診療のため休診となります。
- 〈必要なもの〉 保険証 ※受給証をお持ちの方は併せて受給者証を提示してください。

### ◆2回目以降受診（再診）の場合

- 〈受付窓口〉 歯科受付へ直接おいで下さい。
- 〈必要なもの〉 診察券

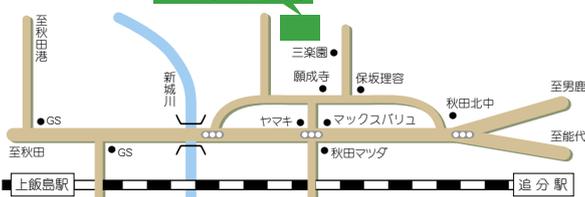
## 編集後記

いよいよ当院の広報誌が発行となりました。発行は年4回を予定しております。

まだまだ生まれたばかりの広報誌ですが、読まれる方が楽しくそしてためになる情報などを盛り込んでいきたいと思っております。

この広報誌を通して、当院の活動や運営をお知らせし、さらなるご指導・ご支援を賜われれば幸いです。 広報委員会

### 秋田緑ヶ丘病院



## デイケアのご案内

当院では平成四年二月から精神科デイケア活動を開始しております。デイケアは、外来医療活動の一部として行われ、次のような方々を対象としております。

- 家にいて日々をどう過ごすかについて悩んでいる。
- 生活のリズムがうまく作れない。
- 人付き合いが苦手、もつと友達が欲しい。
- 仕事（学校）に行きたいがうまくいかない。

居間自宅からデイケアに通って、さまざまな活動に参加するなかで、お互いに支えあい、自立した生活や、再発を防ぎ、健康な明るい生活をとりもどす……。それがデイケアの目的です。

### □申し込みについて

デイケア申込書記入の上、外来に持参してください。

ご本人、ご家族のデイケア見学参加もお気軽にご連絡。

## こんにちは。新人です！



栄養科 管理栄養士  
石川久美子

七月より働き始め、無夢のうち、早くも半年が経過しています。現在、病棟で患者さんの喫食状況を見ています。実際にコミュニケーションをとるなかで嗜好、食欲、食べ方：など新たに気付くことが沢山あります。やはり、患者さんの嗜好は想像以上に多様で複雑であることを実感しています。まだまだ力不足ですが、経験を重ねていき患者さん一人一人の立場になって栄養管理、給食管理が出来るように努力していきたいと思っております。



作業療法科 助手  
一ノ関靖浩

十二月より作業療法士助手として勤務しています。まだまだ不慣れた部分が多く、様々な事が新鮮で、常に発見の連続ですが、同時に自分なりの課題も見えてきました。当面の目標は、早く患者様に信頼して頂けるようになる事です。その為に、患者様の顔と名前を覚える事と、同時に先輩職員を見習って、自然体でコミュニケーションをとれる様になる事が、今の私には必要だと思っています。先輩職員のご指導の下、勉強の毎日ですが、非常にやりがいと面白みを感じ、充実しております。将来的には、自分自身ステップアップし、より患者様のお役に立てる様、資格取得も大きな目標として考えています。まずは初心を忘れずに、良い意味で緊張感を持って仕事に臨んでいきたいと思っております。

## お薬のお渡しについて

診察時間や調剤内容によっては、お薬をお渡りする順番が前後することもありますのでご了承ください。

## 薬局から



当院では皆様方のご意見を参考によりよい病院運営、また患者様方へのサービス向上を目指し意見箱を設置しております。設置場所は外来管理棟内パティオ、各病棟内にあります。遠慮なくご意見をお聞かせください。

## 広報誌名由来



医事課主任  
桜庭 光明

たけのこはその土地に根を張り、毎年新しい芽を出し成長します。当病院においてもこの土地で成長し続けたい、続ける意味でたけのこという広報誌名にしました。又病院の裏には竹林があり、毎年たけのこ会というたけのこ料理を楽しむ会もあり、英気も与えてくれます。